



採用校に
聞きました!

デジタル教材を導入したいが、どうすればいい?
コストもスキルもハードルが高い…、と
お考えの先生方に!

デジタル教科書導入・活用

東奔西走記

Vol.7

鳳凰高等学校 看護学科統括部長 大江 伸吾

鹿児島の鳳凰高等学校の大江と申します。デジタル看護教科書®の採用校という立場で、デジタル教科書導入後の状況などを、実体験に基づいてご紹介しております。

さて、今回は新型コロナウイルス感染症による臨時休校期間中のデジタル教科書の活用と生徒の反応についてご紹介します。

臨時休校期間中のデジタル教科書活用

新型コロナウイルス感染症の影響により、どちらの学校においても対応に追われていることと存じます。

本校のある鹿児島県は比較的感染者が少なかったものの、4月・5月の約2カ月間は臨時休校や分散登校などの措置をとり、生徒全員が揃わない中での授業という答えの見えない難題にチャレンジすることとなりました。ただし、生徒全員がタブレットを所有しており、環境が整っていたことは大きなアドバンテージになりました。

課題の配信・提出

本校では前回もお伝えしたように「デジタルナーシング・グラフィカ」のテスト管理システムを活用しました。教員が各生徒の学習状況を確認でき、クラス全体の理解度等をボタン一つで確認で

きるため非常に便利です。また、学校側でオリジナル問題の登録ができるため、各教科で問題作成・登録を行い、本校の実情に合わせた課題を配信することができました。さらに、看護師国家試験対策eラーニング「Nプラス」(メディカ出版)も導入しており、国家試験の過去問演習も進めることができました。こちらも教員側の管理画面によって、それぞれの取り組み状況や理解度・到達度を把握できるため、進捗状況によっては、生徒に直接電話やメールでアドバイスすることもできました。こういったやりとりを郵送等で行うとなると、大変な時間と労力が必要になっていたと感じます。

講義の配信

実習や国家試験等を考えると講義を進めないわけにはいきませんが、その手段に悩みました。結論から言うとYouTubeとZoomのフル活用により、この難局をなんとか乗り越えることができました。具体的にはZoomでリアルタイムの授業を配信しました。また、それを録画し、YouTubeへ投稿することで、リアルタイム配信後にも講義動画を閲覧できる仕組みを整えました。Zoomに加えてYouTubeを利用したのは、繰り返し再生や一時停止によって自分のペースで学習を進めることができるからです。

ご回覧



情報担当の教諭や生徒指導部とも連携して、セキュリティや個人情報の取り扱い等に注意しながら、この期間で約500本の講義動画を制作しました。本校の教職員にとっては試行錯誤の連続でしたが、動画制作・投稿の技術が上達し、最終的にかなりクオリティの高いものを提供できるようになったことは、学校再開後の今でも大きな自信となっています。

このように、経験したことのない不安な状況をデジタル教科書はもちろん、さまざまなICT技術を利用し、生徒・保護者の不安な状況を少しでも和らげることができたのではないかと感じながら、早くこれまでのような日常に戻ることを願う毎日を送っています。

オンライン授業に対する生徒の反応

オンライン授業に対する生徒の反応を、アンケート調査の結果をもとに、ご紹介いたします。

オンライン授業については、「授業の遅れに対する不安が解消した」「家でも学校の授業を受けられるので安心した」という意見が最も多く、その他に、「先生や同級生の顔を見て安心した」「生活リズムが整った」という声が聞かれました。これらの

意見から、学生の不安が和らいだことが読み取れました。

また、オンライン授業の良い点としては、自分のペースで勉強を進められることが挙がりました。

「通学がないので時間のゆとりができた」「周りの目を気にせず集中できる」などの環境的な要因と、

「YouTube動画は何度も繰り返し見ることが出来る」「わからないことを何度も確認できる」などの理由があります。また、イラストやパワーポイントのスライドが工夫されており、わかりやすいとの意見もありました。

調査日：令和2年6月13日～15日

対象：鳳凰高等学校全校生徒（看護学科生徒788名を含む）

回答者数：1,199名 有効回答数：1,175名（回答率 81%）



Youtubeにアップした講義動画の例

よりお役に立つ内容にしていくため、ご意見・ご感想がございましたらご自由にご記入いただき、FAXにてご送信ください

FAX:06-6398-5081 **⚠️ FAX番号のおかけ間違いにご注意ください**